

2020年10月18日 主日礼拝

司式：金刺泰雄長老

奏楽：羽倉信彦長老

\*以下、太文字の言葉はみんなで声を合わせます。

《神のみ前に近づく》

前奏  
序詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 149-1節 (わがたままたえよ)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、私たちの罪を洗い清めてください。寒さを感じつつありますが、あなたの暖かな慈しみも同時に感じる者としてください。あなたのみ言葉によって私たちを慰め、導いてください。

主よ、例年なら、今日の礼拝は教育週間として大人と子供たちとの合同礼拝でした。この状況を憐れんでください。みんな、神様の家族として、ともに集える日が早く与えられますように。

癒しと介護を必要としておられる方々、その介護と看病に当たっておられる方々、この社会や制度を維持し守るために働いておられる方々を支えてください。どうか、この世界と日本に、あなたのみことの癒しの道を示してくださいますように。

「私は深い慈しみをいただいて、あなたの家に入り聖なる宮に向かってひれ伏し

あなたを畏れ敬います。

主よ、恵みの御業(みわざ)のうちに私を導き

まっすぐにあなたの道を歩ませてください。」

(詩編 5:8~9)

\*しばらく黙祷の時をもちます

主よ、私たちの心と体をとらえ、生き返らせ、喜びで満たしてください。御名によって祈ります。アーメン。

本日の集会 礼拝前：・求道者会；礼拝後：・大そうじ

・日曜学校教師会 ・オリブの葉編集委員会

讃美歌 32 (キリエ) = 座ったままで

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

\*司式者がローマ書5章6~9節を朗読します。

アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖書

イザヤ書 55章8~11節 (旧p1153)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 10章1~11節

(新p463~464)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 414-1, 2節 (せかいの友と)

説教

『黙示録③⑥— 小さな巻物をください』

祝福の祈り

武田真治牧師

《神への応答》

讃美歌 356-1, 2節

(インマヌエルの主イエスこそ)

献金

奉仕者：飯島 飯田

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 (ともに祈りましょう)

報告

讃美歌

90-1節 (主よ、来たり、祝したまえ)

祝祷

武田真治牧師

後奏

報告と退場

受付：鈴木 橋本

礼拝：茨木公子長老

お茶の会 当分の間休会です。

＜先週の説教から＞

『黙示録③⑥— 災いに遭っても』

創世記 2:10~14 ヨハネ黙示録 9:12~21

いよいよ6番目のラッパが吹かれました。すると「大きな川、ユーフラテスのほとり (=地の果て) につながれている四人の天使を放してやれ。」という声が天から聞こえ、天使たちが解き放たれました。しかし、その天使たちの役割は「人間の三分の一を殺すため」でした。今までの災いの中で、初めて直接、人間の命に手が下される災いでした。しかも一度に人類の三分の一が死ぬという非常に恐ろしいことが起こるのです。

この人間の殺戮がいかに確実に行われるかという点は、その天使たちの手下として「その騎兵の数は二億、その口から吐く火と煙と硫黄、この三つの災いで人間の三分の一が殺された」のでした。ここでの二億という数に驚きます。当時、地球上にそれだけの人口はいなかったのではないかという解説者もあるほどですが、「6」は完全数である「7」に達することは出来ないが、人間的に最高の数と考えられていましたから、最も増えた場合の総人口が6億とされ、その三分の一が2億ということでしょう。大事な点は、その人間2億を殺すために、同じ数の騎兵が送り込まれる、人間一人に一兵と。まさにいっぺんに、しかも完璧に人間を殺せる軍団が派遣されるのだと。

ただ、すべての人間が殺されないのは、まだ裁きではなく、尚も神様は悔い改める者をここに至っても求めて、敢えてこんな恐ろしい出来事を起こされるのです。しかし「これらの災いに遭って殺されずに残った人間は、悔い改めず、偶像を礼拝することをやめなかった」のでした。人間の罪の深さ、頑なさを本当に思われます！